

STATISTICS OF CHICHIBU, 2013

平成25年版

統計 ちちぶ

秩父市

CHICHIBU CITY

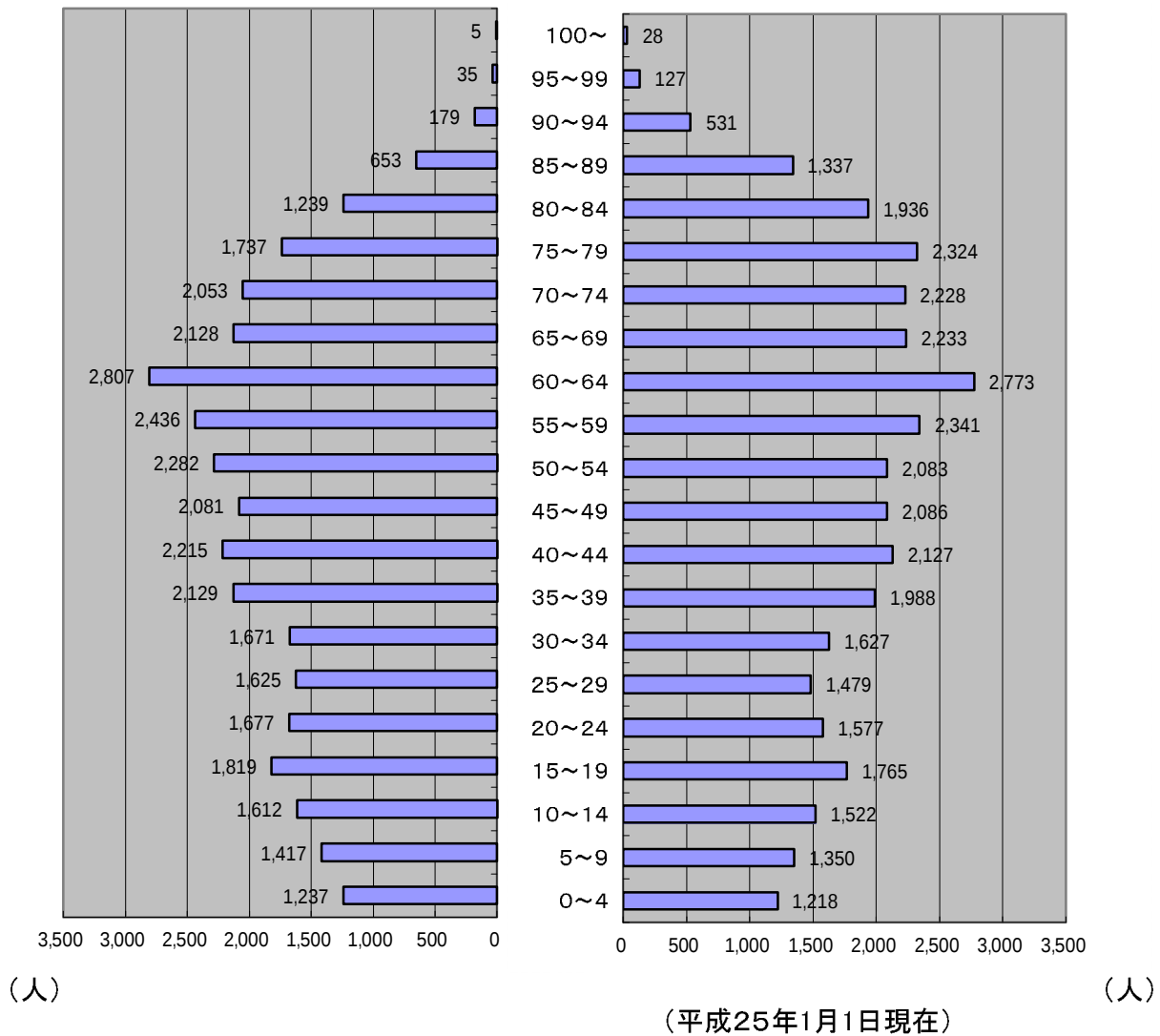
人口ピラミッド

(5歳階級別)

男 33,037人

年 齢

女 34,680人



総数 67,717

男 33,037

女 34,680

秩父市統計書 2014 STATISTICS OF CHICHIBU 2014

1.土地・気象

LAND・WEATHER・CONDITIONS

- 1-1 位置及び面積
1-2 区域の変遷
1-3 土地(地目別面積の推移)
1-4 気象

2.人口

POPULATION

- 2-1 人口の推移
2-2 地区別人口の推移
2-3 男女別平均年齢の推移
2-4 外国人登録人口
2-5 人口動態
2-6 年齢(3区分)別人口及び年齢構造指数の推移

3.国勢調査

NATIONAL CENSUS

- 3-1 人口の推移
3-2 年齢(各歳)・男女別人口
3-3 従業・通学市区町村及び人数
3-4 常住地又は従業地・通学地による人口(夜間人口・昼間人口)一全国・埼玉県・秩父市(平成2年〜平成22年)
3-5 住居の種類・所有の関係別の世帯数・人数
3-6 単身世帯・高齢者世帯 世帯数
3-7 常住地又は従業地・通学地による年齢(5歳階級)男女別人口及び15歳以上就業者数
3-8 労働力状態(8区分)による年齢(5歳階級)総数、男女別人口及び15歳以上就業者数
3-9 職業(大分類)従業上の地位(7区分)男女別15歳以上就業者数
3-10 常住地による従業地・通学地(5区分)男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数一町丁・字等
3-11 従業上の地位(3区分)男女別15歳以上就業者数一町丁・字等
3-12 労働力状態(2区分)男女別15歳以上人口一町丁・字等
3-13 産業別就業者数・職業別就業者数

4.事業所・企業

ESTABLISHMENT・ENTERPRISE

- 4-1 民営事業所数の推移
4-2 民営事業所従事者数の推移
4-3 1事業所当たりの従事者数の推移(民営)
4-4 産業(大分類)・従業者規模(6区分)別全事業所数及び男女別従業者数一町丁・字等
4-5 産業(大分類)・従業者規模(6区分)別民営事業所数及び男女別従業者数一町丁・字等
4-6 産業中分類 民営の事業所数及び従業者数

5.農業・林業

AGRICULTURE・FORESTRY

- 5-1 農家数の推移
5-2 販売農家の世帯員数
5-3 年齢別農業就業人口(販売農家)
5-4 年齢別基幹的農業従事者(販売農家)
5-5 農業従事者等の平均年齢の推移(販売農家)
5-6 経営耕地面積の推移
5-7 販売目的の作物別作付(栽培)農家数と作付(栽培)面積
5-8 作物の種類別・栽培別 農家数及び面積
5-9 販売目的の家畜を飼養している農家数と飼養頭羽数(家畜の種類別)
5-10 林野面積
5-11 山林面積
5-12 地区別農地転用の状況

6.工業

MANUFACTURING・INDUSTRY

- 6-1 産業中分類別統計表
6-2 事業所数・従業者数
6-3 水原別・用途別用水量(従業者30人以上の事業所)

7.商業

COMMERCE

- 7-1 産業分類別事業所数・従業者数・年間商品販売額・商品手持額(卸売業)
7-2 産業分類別事業所数・従業者数・年間商品販売額・商品手持額・売場面積(小売業)
7-3 全事業所数
7-4 卸売事業所数
7-5 小売事業所数
7-6 売場面積合計
7-7 年間商品販売額合計
7-8 従業者数合計

8.観光

SIGHTSEEING

- 8-1 秩父市内宿泊施設数及び収容人員
8-2 秩父郡内宿泊施設数及び収容人員
8-3 道の駅利用状況

9.運輸

TRANSPORTATION

- 9-1 バス利用客輸送状況
9-2 鉄道による駅別旅客及び貨物輸送状況
9-3 自動車登録台数

10.建設・住宅

CONSTRUCTION・RESIDENCE

- 10-1 用途地域別指定面積
10-2 都市公園の状況
10-3 市道状況
10-4 橋りょうの状況
10-5 都市計画の地域区分別、住宅の所有の関係による住宅数、世帯数、世帯人員、1住宅当たり居住室、1住宅当たり居住室の畳数、1住宅当たり延べ面積、1人当たり居住室の畳数、1室当たり畳数及び1室当たり人員
10-6 建築確認申請処理状況
10-7 市営住宅建設の推移
10-8 県営住宅建設の推移

11.市民生活

THE CIVIC LIFE

- 11-1 市民相談状況
11-2 上水道給水状況
11-3 下水道普及状況
11-4 ガス使用量
11-5 市小口融資及び特別小口融資貸付状況

12.市民所得

INCOME WITHIN THE CITY OF CHICHIBU

- 12-1 関係指標
12-2 産業別市内総生産
12-3 市民所得の分配

13.財政

FINANCE

- 13-1 普通会計の決算額
13-2 普通会計目的別歳出決算額
13-3 市税の内訳
13-4 市立病院事業会計決算額
13-5 水道事業会計決算額
13-6 1世帯・1人当たりの歳出額及び市税の状況
13-7 普通地方交付税等
13-8 個人市民税所得区分別課税状況
13-9 法人市民税課税額と法人数の推移
13-10 固定資産税・都市計画税 課税額及び納税義務者の推移
13-11 固定資産税家屋新築数・増築数の推移
13-12 固定資産の決定価格等
13-13 公有財産の推移

14.教育・文化

EDUCATION・CULTURE

- 14-1 学校種別学校数
14-2 幼稚園
14-3 小中学校
14-4 高等学校
14-5 男女別体格の秩父市・埼玉県比較表
14-6 特別支援学校
14-7 市営体育施設利用状況
14-8 温水プール利用状況
14-9 市民プール(ミュージックプール)利用状況
14-10 市立図書館利用登録者数
14-11 市立図書館蔵書数・貸出冊数
14-12 市立図書館利用状況
14-13 公民館年間延べ利用人数
14-14 歴史文化伝承館利用内容別人数
14-15 勤労青少年ホーム延べ参加者数
14-16 指定文化財種別件数
14-17 文化財一覧表

15.社会福祉

SOCIAL・WELFARE

- 15-1 保育所(園)の状況
15-2 学童保育室利用状況
15-3 児童厚生施設利用状況
15-4 家庭保育室(乳児保育園)の状況
15-5 市営老人ホーム利用状況
15-6 わたきり老人等の援護
15-7 家族介護用品支給人員
15-8 要介護(支援)認定者数
15-9 ふれあいセンター利用状況
15-10 老人福祉センター(居住型)利用状況
15-11 高齢者憩いの家利用状況
15-12 下郷福祉交流センター利用状況
15-13 影森福祉交流センター利用状況
15-14 高橋福祉交流センター利用状況
15-15 国民年金
15-16 こども(乳幼児)医療費支給状況
15-17 生活保護扶助別実施状況
15-18 児童手当支給状況
15-19 身体障害者手帳所持者数

16.保健・衛生

HEALTH・SANITATION

- 16-1 医療施設状況
16-2 医療関係者数
16-3 市立病院状況
16-4 保健事業実施状況
16-5 予防接種の状況
16-6 献血実施状況
16-7 狂犬病予防注射実施状況
16-8 国民健康保険運営状況
16-9 後期高齢者医療保険の状況
16-10 河川の水質調査結果
16-11 聖地公園利用状況
16-12 秩父斎場・火葬場及び霊柩車利用状況
16-13 ごみ排出状況
16-14 し尿収集処理状況

17.治安・消防

PUBLIC PEACE・FIRE SERVICE

- 17-1 犯罪発生検挙状況
17-2 青少年不良行為別補導数
17-3 交通事故類型別発生件数
17-4 交通事故発生状況
17-5 法令違反別交通事故発生件数
17-6 火災発生件数
17-7 原因別火災発生件数
17-8 救急出動件数
17-9 消防設備及び消防職(団)員数
17-10 地区別消防水利状況

18.行政・議会・選挙

ADMINISTRATION・ASSEMBLY・ELECTION

- 18-1 党派別議員数
18-2 議会活動状況の推移
18-3 選挙結果の状況
18-4 選挙人名簿登録者数
18-5 市職員数の推移
18-6 職種別市職員数の推移
18-7 経験年数別市職員数の推移(一般行政職のみ)
18-8 年齢・男女別市職員数の推移

19.統計からみた秩父市の位置

RANK OF THE CITY OF CHICHIBU IN THE STATISTICS

- 19-1 人口・世帯
19-2 自然環境
19-3 経済基盤
19-4 行政基盤
19-5 教育
19-6 労働
19-7 文化・スポーツ
19-8 居住
19-9 健康・医療
19-10 安全
19-11 福祉・社会保障

利用のみなさまへ

- 1、この資料は秩父市の市勢全般にわたる基本的な統計資料を収録したものです。
- 2、この資料は、平成 24 年度までの資料を中心に収録しましたが、項目により、できる限り最新のものを収録するとともに過去の統計資料も参考に掲載してあります。
- 3、資料は本市のほか、官公庁及び民間団体等から収録したもので資料の出所は各表ごとに付記しました。
- 4、統計表の調査時期の示し方は次のとおりです。
 - 「年」 1 月から 12 月まで（暦年）
 - 「年度」 4 月から翌年 3 月まで（会計年度）
 - 「年月日」 調査年月日
- 5、数値の単位は各表の右上に掲げましたが、一見して明らかなものは省略しました。
また、単位未満は原則として四捨五入してありますので総数と内訳の合計が合致しない場合もあります。
- 6、統計表の符号の用法は次のとおりです。
 - 「0」 単位未満
 - 「―」 事実のないものまたは不詳
 - 「△」 マイナスまたは減少したもの
 - 「X」 調査対象が極めて少ないため、公表を控えたもの
- 7、昭和を S、平成を H と表記していますが、部分的に平成という表記もあります。